

科 目 名	果 樹	単 位 数	2 単 位	学 科 ・ 学 年	農業総合 科 2 年																																								
使用教科書	果 樹（実教出版）			副 教 材 等	視聴覚教材																																								
学 習 目 標	農業の見方・考え方を働かせ、実践的・体験的な学習活動を行うことなどを通して、果実の生産と経営に必要な資質・能力を次の通りに育成することを目指す。 （１）果実の生産と経営について体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付けるようにする。 （２）果実の生産と経営に関する課題を発見し、農業や農業関連産業に携わる者として合理的かつ創造的に解決する力を養う。 （３）果実の生産と経営について生産性や品質の向上が経営発展へつながるよう自ら学び、農業の振興や社会貢献に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。																																												
学 習 評 価	○ 次の三つの観点に基づき、学習内容のまとまり（定期考査ごとを学習のひとまとまり）ごとに下の評価規準により評価を行い、学年末に５段階の評定に総括します。 <table><tr><td>①知識・技能</td><td colspan="4">果樹の栽培管理、経営に興味・関心が高く、授業に主体的に参加し、また意欲的に取り組んでいるか。</td></tr><tr><td>②思考力・判断力・表現力</td><td colspan="4">果樹の育成における基礎的な知識、調査観察を記録・整理しその結果を多面的に考察しているか。</td></tr><tr><td>③主体的に学習に取り組む態度</td><td colspan="4">果樹の育成やその利用について基礎的な技術を身につけているか。</td></tr></table>  <table><tr><td>評価方法\観点</td><td>①</td><td>②</td><td>③</td><td></td></tr><tr><td>学習状況の観察</td><td>○</td><td>◎</td><td>—</td><td>自己評価の実施</td></tr><tr><td>ノート</td><td>—</td><td>○</td><td>◎</td><td>学習ノート</td></tr><tr><td>実習・実習レポ</td><td>◎</td><td>○</td><td>◎</td><td>実習・レポート</td></tr><tr><td>ペーパーテスト</td><td>◎</td><td>—</td><td>○</td><td>定期考査</td></tr></table> ※表中の◎は観点の中でより重視するところです。 ○探求的な学習を通して果樹に関する興味、関心を高め、果樹の育成の基礎的な知識と技術を身につけましょう。					①知識・技能	果樹の栽培管理、経営に興味・関心が高く、授業に主体的に参加し、また意欲的に取り組んでいるか。				②思考力・判断力・表現力	果樹の育成における基礎的な知識、調査観察を記録・整理しその結果を多面的に考察しているか。				③主体的に学習に取り組む態度	果樹の育成やその利用について基礎的な技術を身につけているか。				評価方法\観点	①	②	③		学習状況の観察	○	◎	—	自己評価の実施	ノート	—	○	◎	学習ノート	実習・実習レポ	◎	○	◎	実習・レポート	ペーパーテスト	◎	—	○	定期考査
①知識・技能	果樹の栽培管理、経営に興味・関心が高く、授業に主体的に参加し、また意欲的に取り組んでいるか。																																												
②思考力・判断力・表現力	果樹の育成における基礎的な知識、調査観察を記録・整理しその結果を多面的に考察しているか。																																												
③主体的に学習に取り組む態度	果樹の育成やその利用について基礎的な技術を身につけているか。																																												
評価方法\観点	①	②	③																																										
学習状況の観察	○	◎	—	自己評価の実施																																									
ノート	—	○	◎	学習ノート																																									
実習・実習レポ	◎	○	◎	実習・レポート																																									
ペーパーテスト	◎	—	○	定期考査																																									
履 修 上 注 意	◇果樹の生育状況によっては実習を行うことがあります。 ◇各章が終わると復習プリントでもう一度確認を行います。 ◇学期末に必ずノート提出がありますので、毎回の授業できちんとノートを書くようにしましょう。																																												

学期	月	学 習 内 容	時数	学 習 の ね ら い
1 学期	4	第 1 章 果樹の種類と果樹栽培の動向	18	○果樹の種類と分類について理解する。 ○果実利用と食品価値の重要性を理解する。 ○果実の生産量と消費量の動向を理解する。 ○果実の輸出入の現状を知り、将来の果樹栽培について考える。 端末による調べ学習などを通して、果実の生産経営の特徴について理解を深めます。 【学習状況調査】 【定期考査】 【総合実習の取り組み】
	5	◇果樹の種類と果実の利用		
	6	◇果実栽培の動向		
	7	第 2 章 果樹の生育と栽培環境	6	○果樹の生育と気候・土壌・栄養・水分の関連を理解する。 ○果樹の安定生産と高品質果実生産にかかわる栽培技術と環境要因について学ぶ。 I写真、実物、ICT、を使用しながら調べ学習を行い、身近な例と関連付けながら果樹の生育を理解します。 【ワークシート】 【学習状況観察】 【定期考査】 【総合実習の取り組み】
		◇果樹の生育と生理		
2 学期	9	第 3 章 果樹の栽培管理	12	○苗木の生産（繁殖）の特徴を理解し、その方法を学ぶ。 ○果樹園の開設に必要な自然的立地条件、経済的立地条件を学ぶ。 ○果樹園の造成、苗木の植え付け方法について学ぶ。 ○果樹の生育に適した土壌条件を知り、その管理方法を学ぶ。 ○果樹の生育と施肥の関係を理解する。 ○施肥の量・時期・方法について学ぶ。 ○果樹の生育と土壌水分含量の関係を理解する。 ○かん水の時期・量・方法について学ぶ。 ○果樹栽培に受粉樹や人工授粉が必要な理由とその方法を学ぶ。 果樹と他作物との違いと特徴を理解する。 調べ学習により、地元の気候条件と土地の特徴を理解し、栽培に適する果樹についてグループワークで話し合いながら学びます。 ICTで動画や写真を活用しながら果樹の栽培管理と関連付け、苗木の育成、開園と更新、土壌管理、栄養と施肥、水分管理について学びます。 【ワークシート】 【定期考査】 【総合実習の取り組み】 【学習状況観察】
		◇苗木の育成		
		◇開園と更新		
		◇土壌管理		
	10	◇栄養と施肥	14	○かん水の時期・量・方法について学ぶ。 ○果樹栽培に受粉樹や人工授粉が必要な理由とその方法を学ぶ。 ○落果の時期と原因について知り、その防止対策を学ぶ。 ○摘花（摘らい）と摘果の目的を理解する。その時期・程度・方法を学ぶ。 ○芽と枝の種類と構成を知る。 ○さまざまな果樹の結果習性を理解する。 ○整枝・せん定の目的を理解し、その方法を学ぶ。 ○気象災害の防止対策について学ぶ。 果樹園の見学を行い実物を観察しながら結実管理、結果習性、整枝、せん定などの栽培技術について学びます。 【プリント】 【定期考査】 【総合実習の取り組み】 【学習状況観察】
		◇水分管理		
	11	◇結実管理	14	○摘花（摘らい）と摘果の目的を理解する。その時期・程度・方法を学ぶ。 ○芽と枝の種類と構成を知る。 ○さまざまな果樹の結果習性を理解する。 ○整枝・せん定の目的を理解し、その方法を学ぶ。 ○気象災害の防止対策について学ぶ。
		◇摘花（摘らい）・摘果		
	12	◇結果習性と整枝・せん定		
	3 学期	1	◇気象災害の防止	20
2		第 3 章 果樹の栽培管理		
		◇病害虫の防除		
3		◇植物成長調節物質の利用		
	◇施設栽培と特殊栽培			
時間数計			70	